第８回　福井市文化会館整備基本構想・基本計画定委員会　議事録

日　時：2018年 1月17日（水）9:30-11:00
場　所：福井市役所8階　第3委員会室
出席者：策定委員会　山崎委員長、古石副委員長、石丸委員、今村委員、小原委員、中嶋委員
野坂委員、野嶋委員、長谷川委員、堀内委員
（欠席）友廣委員

資　料：議事次第、福井市文化会館整備基本計画答申案

事務局	■次第1　開会 ■次第2　協議事項 福井市文化会館整備基本計画（答申案）について
事務局	友廣委員からは、特に修正点はないということで、ご意見いただいております。
委員長	答申案につきまして、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。
Ａ委員	内容はだいたい了解したが、提言を申し上げたい。創造関連機能として練習室400㎡、アトリエ220㎡となっているが、アトリエの中で舞台装置を造ったり、多目的に使うのであれば、大中小、練習室並の400㎡は確保しないと機能的に難しい。大ホールが利用されていなくても創造関連機能部分ではいつもなにか動いているような場が必要。 また、この内容が着実に取り入れられて設計に反映されているかということは、我々は利用者側であり、図面を見れば問題点は分かる。そういったことを具申できるチェック機関をもつべき。
Ｂ委員	駐車場について、90台というのはありえない。文化会館を建て直す第一条件として、駐車場がないから移転すべきだという議論を最初にした。せめて大ホール2,000席と小ホール600席合わせて2,600席の最低でも1～2割の台数を確保しなければ絶対に無理。 また、最終的に舞台設備等についてはある程度具体的に示し、それをチェックする機関が必要。PFIについては問題点もあり、確立している形ではなく、失敗例の方が多い。
Ｃ委員	市民が親しむ公園の中に文化施設があるという感覚に持っていければ良い。市民が文化会館に寄るのではなく、文化施設がある公園に寄るようなイメージ。 駐車場の問題については、出入りがし難い印象がある。シェアリングビジネスの観点もあるが、やはり、アオッサと東公園との間にしっかりした駐車場を将来的に設けた方が良いのではない

	か。もう一度、設計をする段階で、どのくらいの台数であれば、出入りに無理がないか、周辺住民に迷惑をかけず、出来るだけ緑を残すという考え方で進めて欲しい。また、富山の親水公園にスターバックスを誘致したが、それにより公園に訪れる人の数も増えたということがあるので、検討いただきたい。 一流の公演を引っ張ってこられるような人が名誉館長になるような、芸術性の高い一流のものを誘致できるような体制を出来上がったときのイメージとして考えていただきたい。また、川沿いの桜並木も一体的に考えていただきたい。ホワイエは市民が親しめるように、常時いろいろな催物が開催されてそこへ訪れることができるような運営をすれば、利用度の高い文化施設になってくるのではないか。 また、今後運営をどのようにすべきか、ということが大切になる。当局だけで運営していくのは難しいのではないか。基本計画が出来た後、運営をどうするのかということについて、市民の方と考えていっていただきたい。
D委員	子どもたちを育てる、人を育てるという視点で、この文化会館がそういう役割の会館になって欲しい。例えば、役割の中で鑑賞機能の中に、生きていくための豊かさを実感できる、学びの実感ということがある。鑑賞から学んでいったり、豊かさから自分の人生の見通しを持っていったりという文言を少し入れていただきたい。
E委員	文化会館で、あのステージに立ってなにかを発表するということは、子どもの心に強烈な印象を残す。福井では都会でやるような公演を観る機会は少ないが、良いものができれば、良いものを見る機会が増える。
F委員	今後、空間造りについては、粛々とチェック機能を入れながらやっていくのが望ましい。もう一つは、どう運営していくのか。 文化会館なので、福井市民の文化を育むということが最終目的であり、建物を建てることが目的ではない。福井の文化振興と連動して文化会館の運営・あり方があるべき。
G委員	文化会館が完成予定の平成34年度末には北陸新幹線が開通し、駅の東口の状況が一変する。歩行環境の確保が重要。中心部から文化会館に向けて歩く過程の中で、文化と緑が融合する文化交流拠点へ行くという、今から素晴らしい公演を観に行くという心の高ぶりが、過程の中で出てくるような道路環境を整備していかなくてはいけない。 駐車場も広いに越したことはないが、緑が失われてしまうようでは、文化と緑が融合するというコンセプトとかけ離れてしまうので、その辺りの兼ね合いは設計の中で調和するようにしていた

	だきたい。
H委員	駐車場については90台、公共交通機関を利用すれば良いと思うが、車社会であることを考えると、狭いのではとも思う。地震時の緊急避難場としての機能も失くしてはならない。最終的には議会が決定するわけであり、この場で出た意見をできるだけ反映できるような決定をしていきたい。 今日の皆さんの意見は意見として会派へ持ち帰って、検討していきたい。また、事務局の方とも検討して進めていきたい。チェック機関、こういうものの進捗状況についても、最終的に見て頂ける方がいると良いのか悪いのか、そういうところも議論していきたい。
Ｉ委員	所属会派では、「今後の管理運営」や「これから設計上の問題」でいろいろなことがあった場合のチェック機能のような委員会を持つのかどうか、駐車場があまりにも少ないのではないか、せめて敷地の200m以内に立体駐車場を設けて歩いて行けるように、という意見が出ました。 大きなイベントには駐車場は必要かなと思います。敷地内にすると、文化施設ですからグレードが下がるような気がしますので、そういうことも含めた考え方で設置をお願いしたいというような方々の意見でした。
事務局	駐車場については、条例での設置台数だと、13,400㎡では90台が最低義務。駐車場としての面積、そこへの配分や配置等についてはこれから検討する。周辺住民への交通上の影響も加味して、90台で足りているという認識はないが、何台まで確保できるのか慎重に見極めさせていただきたい。 また、このあと細かいところを誰がどのように決めていくのかについては、答申を受けて地元住民との話し合い、施設を建てるに至っては、専門的な方々の意見は当然聞かなければいけないと考えている。
事務局	■次第3　今後のスケジュール 今後のスケジュールについて、いただきましたご指摘、ご意見を含めまして、今月22日に委員会から市長への答申を予定しています。 市として基本計画の素案を決定した後に2月からパブリックコメントを募集し、3月下旬までに基本計画の策定作業を進めたいと考えています。

委員長	それでは、今回提示いただいた基本計画答申案については委員の皆様方から大筋の合意をいただけたのではと思っています。 　たくさんの貴重な細かな修正点は、この協議の中でご指摘いただきました。駐車場の問題については、私自身も多少の問題意識は持っていますけれども、緑との調和、全体の空間造りとの関係もあります。コストの問題もありますが、そのあたりも今後細かな修正点として検討していくということで、事務局と相談したいと思います。 　それから、ホワイエを含めた面積、マネージメント・運営の問題、親水の場、公園を設ける以上憩いの場を設ける必要がある、あるいは文化振興の視点、感動を覚える、誇りを持てるような、という方向性、名誉館長をふくめての運営のあり方ですね。 　それから、学びの実感が得られるような空間、教育的な視点からの貴重なご意見、ご指摘を頂戴したと思っております。そういった細かな修正点につきましては、委員長である私自身にご一任いただけますか。 　チェック機関については、技術的なことも含めたチェック機能だと思うのですが、そういったことも含めて今後検討するということで、ご了解いただきたいと思います。
事務局	■次第5　閉会 　本日は長時間、最後まで、ご審議いただきまして誠にありがとうございました。 　新文化会館の建設、オープンに至るまでには、これからいろいろと乗り越えなければならないハードルがまだまだ残っています。これまでいただきました貴重なご意見を、これから地元の皆様との協議、また詳細設計の段階においてはいろいろな形で、皆様にご相談・ご意見を伺う場を設けさせていただきまして、今後とも皆様と共に良い文化会館を造っていきたいと考えています。